

事例検討会 第7回拡大大会

5月24日(木)に第7回臨床倫理事例検討拡大大会を開催致しました。

今回の拡大大会は、医師より担当患者の意思決定支援について話しあうて欲しいと要望があり、急遽開催のはこびとなりました。「多職種で話し合い即現場で活かしたい」と参加を呼びかけると急な開催にも関わらず、総勢24名の参加がありました。昨年度から始めた多職種を交えての検討会の有用性を多職種が理解した結果ではないかと感じ嬉しく思いました。参加者の中には、事例患者の主治医、担当の医療相談員、担当の看護師、担当の言語聴覚士の参加があり、それぞれの職種ならではの苦悩をタイムリーに共有することができました。

話し合いの中で、心身の変化などによって、本人の意思は変化するものであることを理解し、医療・ケアの方針やどのような生き方を望むかなどを日頃から繰り返し話し合うことの大切さを学びました。また、医療者一人に責任がかからないよう、チームで合意することの重要性も改めて学ぶことができました。今後も患者にとっての最善を多職種がチームとなり考えていきたいです。

